

経営資源

三機工業グループが100年をかけて積み上げてきた資本は、日々の事業活動を支えるとともに、次なる成長の源泉となります。今後も経営資源の充実に努めながら、当社グループ最大の提供価値である総合エンジニアリングの質の向上を果たし、自らの持続的な成長へとつなげていきます。

	 財務資本	 人的資本	 製造資本	 知的資本	 自然資本	 社会・関係資本
三機工業グループの強み	- 主力の建築設備事業における収益性向上を通じて蓄積した強固な財務基盤 - 安定的・持続的な株主還元	- 総合エンジニアリングの技術を受け継ぐプロフェッショナルかつ多様な人財 - お客さまのニーズを着実に捉える高いコミュニケーション能力 - 組織に根付いた創意工夫とやり抜く力	- 技術力の継承・発展を担う「三機テクノセンター」 - 搬送機器の主力生産拠点「大和プロダクトセンター」	- 総合エンジニアリングの幅広い要素技術 - 幅広い技術領域での知的財産の蓄積 - R&Dセンターを中核とした研究開発体制 - 特許数	- 環境に配慮した製品や工法の開発推進体制 - 当社省エネルギー提案を通じた「SANKI YOUエコ貢献ポイント」制度の運用による顧客のCO₂削減への支援	- 日本全国で当社の施工業務を支える協会の会員企業 - ビルオーナーやデベロッパー、各種メーカー、行政機関など、長年をかけて培ってきた強固な顧客基盤
ビジネス推進に あたつての課題	- さらなる成長に向けた積極的な成長投資の推進 - 資本効率を意識したキャッシュアロケーション戦略 - 事業ポートフォリオマネジメントの推進	- 経営戦略と連動した人財ポートフォリオとタレントマネジメント - 旺盛な建設需要に対応する採用力の強化 - 労働人口減少を見据えた多様な人財の獲得 - 従業員の能力開発の促進 - 働き方改革、DX推進を通じた生産性の向上 - 人財価値の最大化に向けた従業員エンゲージメントの向上	- 都市再開発・データセンター・半導体関連などの旺盛な建設需要に応える施工体制 - 外部企業や社内R&Dセンターと連携した次世代の搬送技術・搬送機器の開発や事業連携 - 水処理施設の海外市場開拓に向けた生産体制の確保 - 協力会社と一体となった安心・安全な施工管理体制	- 中長期的な事業拡大に資する研究開発 - 高度専門技術者の確保・育成 - 組織横断的なイノベーション創出体制の強化 - デジタル変革(DX)に対応した技術基盤の構築 - 次世代技術への投資と既存技術の高度化のバランス	- GHG排出量や廃棄物などの環境負荷の定量的な把握と、その改善に向けた対応の推進 - より社会に資する環境に配慮した製品や工法の開発	- 協力会社との連携強化 - 将来にわたっての施工体制の維持・強化 - 協力会社をはじめとするお取引先の安定した経営環境の維持 - 戦略的アライアンスによる事業拡大

近年および最新の取り組み	- 成長投資枠500億円の設定と事業投資検討会の立ち上げ - 政策保有株式の縮減などによる資産効率の向上と、健全なレバレッジを活用した資本構成の最適化 - 事業別ROICの算出・活用を通じた事業ポートフォリオ最適化の推進 - 海外IR活動の実施など、IR活動強化により株主資本コストや資本コストの低減を推進	「給与水準の引き上げ」など、働き続けたい職場環境の実現に向けた人事制度の改正 - 総合研修・研究施設「三機テクノセンター」を活用した技術・安全研修の継続的な実施 - DXや現場支援体制の構築を通じた働き方改革の推進 「奨学金代理返還制度」を導入 「三機研修センター」で教育研究体制の強化 - アルムナイ／リファラル採用を導入 - エンゲージメントサーベイ結果を基にした職場環境整備	- BIM活用を通じたフロントローディングの推進 - 高付加価値製品の開発・製造に向け、大和プロダクトセンター内にクリーンルームを構築 - 水処理施設の海外市場開拓に向け、工場増設投資を推進 - 資機材の適材適所配送、オフサイト工法の推進 - M&A推進体制の強化	- 産学官連携による次世代技術の共同開発推進 - 脱炭素社会実現に向けたカーボンニュートラル技術の独自開発 - 環境負荷低減・省エネルギー技術の技術開発の強化 「地球MIRAIプロジェクト」による新技術探索と新事業創出 - 未来創造プロジェクト「未来へ2050 Eco-Sphere[®]」の推進 - 特許等報奨制度を導入	- 温室効果ガス排出量の着実な削減に向けて、SBT認定を取得 「国立極地研究所 南極観測パートナー企業」として南極地域観測事業に人員を派遣し、排水処理設備や空調設備の維持・管理業務を通じて、南極地域の生物多様性保全に貢献 - 環境省「生物多様性のための30by30アライアンス」への参画、三機環境園が環境省「自然共生サイト」認定 - 内閣官房「水循環ACTIVE企業」認証取得	- 協力会社の従業員研修に三機テクノセンターを活用し、技術力向上を推進 - お取引先に対する支払い条件改善の継続的な実施を通じたパートナーシップ強化 - 地域の発展に寄与する多様な社会貢献活動の実施 - 事業承継の難しい協力会社への支援の実施 - グリーン調達、CSR調達の推進 - 大和市との災害協定 - ネーミングライツの実施
--------------	---	--	--	--	--	---

資源

●純資産

1,214億円

●自己資本比率

55.3%

●成長投資

66億円

●従業員数

2,705名

●一人当たりの平均研修費

9.2万円／年

●グループ・協力会社を含む技術力育成活動

●国内拠点(支社・支店)

支社3カ所
支店15カ所

●総合研修・研究施設
(三機テクノセンター・R&Dセンター)

●大和プロダクトセンター

●海外拠点

4カ所

●M&A

2件

●試験研究開発費

19.7億円

●特許登録数(累計)

470件

●産学官連携数

23件

●省エネ・創エネ提案CO₂削減

465件

●地球MIRAIプロジェクト件数

1・2期 8件

●エネルギー使用量

23,124MWh

●水使用量

36,318m³

●三機環境園

●寄付

109件

●ボランティア参加人数

1,121名

●環境インフラ工事

38件

●協力会会員企業

870社

●お取引先との連携

●オープンイノベーションによる価値創出

●スタートアップ企業との連携

3件

●社外向け研修回数

22回

●協力会研修

5回

●協力会社社員へマイスター認定

13名

●協力会社へベストパートナー認定

179社

もたらす価値	- ROE20.8% - EPS*153.51円 - BPS*794.14円 - DOE8.8% 1株当たり年間配当金*65.0円	- エンゲージメントスコア(単体)56.9 - 施工管理技士(土木・建築・電気工事・管工事)1,376名 - 一人当たり月平均時間外労働時間27.5時間 - 一人当たり有給休暇取得率62.5% - 離職率1.3%	- 施工中のトラブル・クレーム削減率 2024年度比 約17%減 - 労働災害度数率(連結)0.49 - BIM導入率87.1% - フロントローディング率74.1%	- 新規特許取得36件 - 提案によるCO₂削減量61,294t-CO₂ - 特許等報奨制度の活用件数10件	- 自社製品による水処理量1,75億m³ 「SANKI YOUエコ貢献ポイント」制度を通じたお客さまのCO₂削減量 累計約48万t 植樹支援 累計約40,000本 - 南極地域観測隊への人員派遣 総計22名 - 三機環境園 入場者数 累計88,079名	- 取引先との意見交換の実施41社 - 社会貢献活動 - スポーツ関連10件 - メセナ活動(三味線・歌舞伎・劇団四季)3件 - M&A2件 - 社外向け研修受講者数(修了証発行数)262名 - 安全教育研修修了証1,501名
--------	---	--	---	--	--	---

※ 2026年5月1日に株式分割(1株→3株)を実施、当該株式分割後の株式数を基準としたEPS、BPS、年間配当金を記載